



小野小だより

「強く 正しく 美しく」

令和2年9月1日

『やさしさのある』強い絆で集いましょう。」

小野小学校長 檜本由広

9月1日（火）朝、全校生に校内放送しました。新型コロナウイルスが存在する社会の中で生きていく上で、大切にすべきことと思いますので、保護者の皆様からも同様に話していただきたいと願っています。

「新型コロナウイルスに感染しないように、毎日頑張っている皆さんに伝えたいことがあります。」

「皆さんは、マスクをして、教室の換気に気をつけて、手洗いも忘れずに、そして、体調が悪い時には学校を休んだりして、感染症の予防に努めています。本当にありがとうございます。」

「この感染症は、かぜやインフルエンザと同じで、誰であっても感染する可能性があるものです。インフルエンザにかかって、高い熱を出した人もいますでしょう。でもね、インフルエンザにかかってしまった人が悪いわけではないのです。そのことは、新型コロナウイルスの感染症も同じです。気をつけていても、目には見えないウイルスが相手だから、誰であっても、校長先生でも感染してしまう可能性があるんです。」

「かかった人が悪いのではなく、ウイルスが悪いのです。」

なのに、感染してしまった人が周りの人から責められたり、「向こうへ行け」と言われてしまったり、つらい目にあっているという話が聞こえてきます。皆さんは、そんな話を聞いてどう思いますか？きっと、『そんなことは許さない。』と答えるよね。校長先生は、そんなことでつらい目にあう人を見たくないし、感染症になった人をつらい目にあわせている人も見たくない。」

「小野小学校の皆さんは、強い絆で集まって生活しています。みんながいっしょになって、感染症にならないように気をつけて生活しています。みんなで防ごうとしているから安心できるよね。」

それでも、かかってしまうかもしれないのが感染症です。『もしも、自分がかかってしまったら、・・・』と、不安になる気持ちもよく分かります。皆さんが感染しても、必ずお医者さんが治してくれるからね。安心していいよ。」

「人の心には弱いところがあって、不安の中で誤った判断をしてしまうことがあります。私たちが持つべき心は、感染した人や感染症に似た症状の人を責めてしまう弱い心ではなく、正しい理解と判断、そして思いやりの気持ちをもって、感染した人が早く治るように励ましてあげたり、元気に戻ってきたときには、温かく迎えたりできるやさしさをもってほしいと願っています。」

「こういうお話は、6年生、5年生が低学年の子供たちにも話してあげてくださいね。感染症にかかった人が悪いのではない。悪いのは、ウイルスです。小野小学校の皆さんは、本当のやさしさのある強い絆で集まるんですよ。もちろん感染の予防を忘れずにね。」

「応援しています。」

□□ P T A活動について □□□

8月29日（土）7：30、PTA理事の皆さんが学校に集まってくださいました。例年でしたら多くの人で実施していただいていた夏休みの奉仕作業でした。今年は、感染症の影響、熱中症も心配でしたので見送ろうとしたところ、「ぜひとも」と、理事の皆様が敷地内の草刈りを中心に作業してくださいました。トラック1台、軽トラック2台の草を運んで学校を出発されたのは9：00。暑い中で汗を流していただきました。本当にありがとうございます。

当初9月24日のオープンスクールの中で予定をしていた「子育てセミナー」につきましては、児童とともに「ネット社会とのつきあい方」等について研修していただくこととしていましたが、オープンスクールを延期することから、本年度は中止といたしました。

また、10月10日のエコリサイクルについては、まだ感染症の不安がぬぐいきれない状況であることから中止と決定しました。1月のエコリサイクルについては、ドライブスルー型の回収方法を検討することも考えています。その際にはよろしくお願いたします。

PTA活動につきましては、PTA理事会、PTA地区・学級評議員会で検討し、決定していただいています。感染症の影響を受けながら、理事の皆様、地区・学級評議員の皆様には苦慮しながら進めていただいています。本当にありがとうございます。保護者の皆様のご理解とご協力について、よろしくお願いたします。

なお、お子様のことで心配なこと、気になることは学校までお伝えください。

